

カムイ(神)と呼ばれた
白井柳治郎の日記出版
偉大な先人の
足跡伝える

明治、大正、昭和にわたって、アイヌ民族の教育やその社会的地位向上に尽力し、虻田小学校の敷地内に胸像と頌徳碑が建てられている、虻田小学校第14代校長白井柳治郎(1882年〜1966年)の日記が出版されました。

白井の功績を後世に伝えようと、町内の郷土史研究家の岡田光弘さん、小弾正昭男さん、鈴木正直さん、多田康之さんの4人で「白井日記をひもとく会」を結成。解説、資料整理などを多田さんが担当し、3年半という長い月日を費やして、20歳から83歳までの不明分を除く44年間の膨大な日記を、本文3641頁、全5巻にまとめ上げました。

茨城県生まれの白井は、明治34年アイヌ民族の救済を夢



白井柳治郎の日記を発刊したひもとく会の皆さん

見て18歳で虻田に移住し、その後アイヌ民族の子弟のための職業訓練学校や同小学校の教員など、83歳で人生の幕を閉じるまで、虻田を離れず、当時言われなき差別や偏見に苦しんでいたアイヌの人たちの支えとなってきました。

「生命ほどこの人生で大切なものはない。しかし、生命は、生命より大事なことを行うためにのみ必要なのだ。」と自身が述べた言葉どりの人生を全うしたのです。

岡田会長は「ほとんどの町民が白井柳治郎のことを知らない世代となった。偉大な先人としてこれを機にぜひその功績と生き方を知ってほしい」と発刊に至った想いを熱く語りました。

新人職員紹介



4月1日付で洞爺湖町役場の職員となった新人を紹介します。今後ともよろしくお願ひします。

出の地で働けることを喜び、町民の皆さま及び町へ来られた観光客の皆さまのため、町職員として精一杯頑張らせていただきます。



あかぎ さとみ
赤木 里美
観光振興課

伊達市 29歳 ウイスコンシン州立ステイブンスポイント校 マラソン、スキー、芸術鑑賞 自然豊かなこの町を、多くの方に知ってもらい、町がますます元気になるよう笑顔でがんばります!どうぞよろしくお願ひします。



いながき ゆうすけ
稲垣 佑亮
健康福祉課

江別市 18歳 北海学園札幌高等学校 スポーツ 住み良い洞爺湖町を今よりもっと住み良い町にしていき、活気ある町にしていけるよう頑張ります。



まつだいら
松平 さゆり
健康福祉課

洞爺湖町 26歳 広島国際大学 旅行 洞爺湖町民の方々にとって身近で、いつでも気軽に声をかけて頂けるような保健師になれるよう頑張りたいです。



みねぎし りえ
嶺岸 莉江
健康福祉課

伊達市 22歳 弘前大学 編み物、ぬいぐるみ作りなどの手芸 自分自身、まだまだ未熟で、不慣れなことも多いと思います。が、明るい笑顔で、一生懸命働いていきたいと思ひます。皆さんと笑顔で暮らしていけるお手伝いが出来るよう頑張ります。



ふくざわ みか
福澤 美夏
桜ヶ丘保育所

登別市 20歳 北海道福祉教育専門学校 音楽鑑賞、パドミントン 登別から来たので、まだ洞爺湖町には慣れていないですが、仕事上での子ども達との関わり、地域の方々との関わりを大切に頑張っていきたいです。

出身地 年齢 最終学歴 趣味・特技 抱負